

もっと「おおたの同友」を知ろう！ 参加しよう！

O T A ・ N O ・ D O Y U

おおたの同友

東京中小企業家同友会 大田支部 © 広報誌リニューアル12号

広報委員会

おおたの同友 リニューアル12号 (2018年4月発行)
広報委員長: 針谷周作 (コトノハ株式会社)
広報委員会: 島村亮 (株式会社ルミナス)
発行: 東京中小企業家同友会大田支部
編集制作: コトノハ株式会社

入会のご希望は、東京中小企業家同友会大田支部
→ ☎03-3261-7201

お知らせ | NEWS HEADLINE

第37回 大田支部総会が4月12日に開催

自治体のトップが語る アジアの中の日本 大田区政の現状

講師 松原忠義氏 (大田区長)

松原忠義区長略歴

昭和18年東京府東京市大森区(現・大田区)生まれ。昭和41年 早稲田大学法学部卒業、平成21年 明治大学大学院ガバナンス研究科修了。昭和58年～平成5年まで、大田区議会議員(3期)、平成9年～平成19年 東京都議会議員(3期)、平成19年4月の大田区長選で初当選、平成23年4月に再選、平成27年4月3選を果たし現在3期目。

大田区長就任後は平成24年6月にスポーツ健康都市宣言、平成29年2月に国際都市おおた宣言などを行い、基礎自治体としては、先駆的な取り組みを行っている。また、新空港線の整備促進、羽田空港跡地のまちづくり、障がい者サポートセンターの拡充、元気シニアプロジェクトの推進など区長として精力的に区民福祉の向上に取り組んでいる。



▼打ち合わせ時の写真



～大田区の未来像と経営者への期待を語る～

東京中小企業家同友会大田支部では、来たる4月12日に支部総会を開催します。

平成30年度の支部総会では、記念講演講師に大田区長・松原忠義氏を迎えて、都内でも有数のポテンシャルを持つ大田区の未来像と中小企業経営者への期待を語っていただきます。

「国際都市おおた宣言」を象徴するような、世界との貿易や商取引のできる産業交流施設の建設をはじめ、羽田空港エリアのみならず蒲田、大森、臨海部を含めたスクエアでの街づくり構想など、東京2020後の経済発展の要は大田区であるとの強い想いを語ります。

会員様は、大田区の今後の流れをつかむためにも、お仲間を誘いしてぜひともご参加ください。

東京中小企業家同友会大田支部支部長 有倉将人 (株)日本デジタル通信

DATA	日時: 2018年4月12日 場所: 大田区産業プラザPio (コンベンションホール)	総会+記念講演 / 無料 開催時間: 17時00分～19時30分 / 定員: 120名
		交流会/懇親会 / 5000円 開催時間: 19時45分～21時00分 / 定員: 120名

大田支部会員状況と報告 (2018年4月)

NEWS

- ◎ 4月12日は、大田支部の支部総会があります。新年度の幕開けに、ぜひとも足をお運びください。
- ◎ 各例会の登録は、大田支部のホームページでも行えます。アドレスは、<http://www.ota-doyu.com>です。
- ◎ 「おおたの同友」についてご意見、ご感想がありましたら、事務局アイダまでご連絡ください。

大田支部スケジュール

Schedule

例会 ※例会の開催日定例日が変更となり第2木曜開催となりました。会場: 大田区産業プラザPio

5月10日(担当: リバーサイド) 報告者 (株)シュライン 三浦伸哉社長

6月14日(担当: 21研) 「日本でいちばん大切にしたい会社」審査員特別賞受賞 ㈱中央歯科補綴研究所 木村 正社長

▼その他

心理学を用いて、社員とコミュニケーションを深め、経営指針の実践を研究する会 (通称 LABO)

4月16日 テーマ「理念と心身論レベル」、5月21日 テーマ「社員面談の方法を考える」会場: Luz大森 (入新井集會室)

立正大学経営総合特論講座2018年度スケジュール確定

5月12日(土) 寺嶋卓氏(寺嶋社会保険労務士法人)、6月16日(土) 蛇川良太郎氏(丸良興業有限公司)、

6月30日(土) 新井哲雄氏(株式会社アートビース)、7月7日(土) 元木和洋氏(株式会社インベーションワーキングカンパニー)

会場: 立正大学大崎校舎

2017年度支部で活躍した & 注目の3会員

大田支部で目覚ましい活躍をした会員3名を広報委員会で選出しました。選出されたのは、LABO(企業家研究会)代表の寺嶋卓氏[寺嶋社会保険労務士法人代表]と、製造部会の部会長である渡辺大氏[(株)芝橋代表取締役]、そして、会外から多くの出席者を動員し、2018年度より南部協議会議長を務める大島右京氏[フジコン(株)代表取締役]の3名。ここではその選出された3名の代表に、コメントをいただきましたので掲載します。



LABO(企業家研究会)代表
寺嶋社会保険労務士法人代表

寺嶋卓氏

LABOという心理学を用いた社員とのコミュニケーション方法を探究する部会を立ち上げました。社員面談や会議のやり方等を実践形式にて学びました。その中で立正大学の3年生を招いての模擬採用面接会を実施することができました。新年度は参加者(学生、経営者)から大好評を頂きました。新年度も同様に例会を開催しますので是非ともご参加くださいませ。

2017年度から新しく発足しました大田支部製造部会ですが、他支部も含めて多くの会員様のご参加を頂きました。活動は中小製造業で活躍されている企業の経営計画について、成功の要因や時には失敗例を含めて現場見学を織りこみながら学ぶ事が出来ました。2018年度は更に製造業の経営に不可欠な身近な課題をテーマに「現場で学べる」会として運営していきたいと思っております。



製造部会部会長
(株)芝橋代表取締役

渡辺大氏

支部長、副支部長経験ナシ。そんな浅学寡聞の私がこの度、南部協議会議長を拝命致しました。光栄にも抜擢して下さいました有倉支部長のご期待に応えるべく、南部協議会の活動を通じて大田支部の存在価値がさらに高まり、ますます大田支部が光り輝くよう尽力致しますので、皆さまのご支援ご協力の程、宜しくお願ひ申し上げます。



南部協議会議長
フジコン(株)代表取締役

大島右京氏

2017年度 大田支部活動総括

支部長 (株)日本デジタル通信 有倉将人氏



2017年度支部運営につきまして、支部長を始めとした幹事の皆さま、大田支部会員の皆さまから多大なご協力を賜り誠にありがとうございました。心より御礼申し上げます。

2017年の景況感はリーマンショック前を超える水準まで回復しているとのこと。業種業態によって差はあるものの輸出や生産が持ち直し、製造業を中心に業況も改善しているようです。

大田支部幹事会などの近況報告をする場面においても製造業の会員の方を中心に後半にかけて概ね景況感のよい報告をいただいております。

さて、2017年度の大田支部についての総括は方針にしたがって下記のとおり報告させていただきますが、活動していく中で特に感じたことは、普段参加の少ない会員さんに支部活動がしっかり伝わっていかかったのではないか、ということ。大田支部活動の中心となる支部例会をもっと多くの会員の皆さまにご参加いただくことが課題であると感じています。

このように至らぬ点も多々ありましたが、幹事及び支部長の皆さまの多大なご尽力のお蔭さまで、方針に沿った支部活動がある程度行われてきたのではないかと思います。つきましては以下のとおり方針にしたがって活動報告をさせていただきます。

1 「同友会活動を通じた業績向上」

(1) 部会・委員会の活性化につきまして、「小さくても強い製造業」、「社員とのコミュニケーション力をつける」、「少人数での深い経営論議」、「人手不足に対応するための実践研究」など、それぞれの部会の特徴を出しながらしっかりと活動できていると思えます。しかしながら、方針や目的が明文化されていないこともあり会内の発信力に欠けていたところもあるかと思われまます。また、しっかりと活動できず会員のニーズに答えられないという部会もあり、課題を残す部分もありました。

2 「新会員、既存会員のフォローと交流を深める」

(1) 新会員のフォローは副支部長が中心となり、継続して行うことができました。

(2) ブロック会の活性化は、新生「蒲田ブロック」による忘年会開催により、多くの先輩会員の参加などが実現し一定の効果が期待できると思っています。

3 「社員とともに参加し学べる同友会活動」

昨年度に引き続き10月に同友会のスポンサーと称し運動会を開催することができました。実行委員を務めてくれた各社従業員さん達の結束もさら強まったのではないのでしょうか。課題としては、より多くの会員企業へ周知して参加を増やしていきたいと思っています。

4 「女性部との連携と女性会員の活躍」

9月には女性部で品川支部会員の(株)吉村橋本久美子社長に経営体験を報告していただきました。また、2月には元大田支部会員のテンポスホールディングス 森下社長の例会を女性部との共催で開催し、女性部や会外から300名以上の参加もあり、連携と交流が深められました。

以上、2017年度活動の総括とさせていただきます。

一泊同友会報告

新年度支部スローガンが決定

「自らを高め、経営伸ばす！ 変化を感じ、未来を創れ！」

2月17日から KKRホテル熱海で開催された「一泊同友会」では、各部会、委員会、同好会による2017年度の総括と、次年度に向けた目標を発表した。

2017年度は、新しく立ち上がった渡辺大社長（株）芝橋による製造部会、大田支部に移籍しLABO（企業家研究会）を立ち上げた寺嶋卓代表（寺嶋社会保険労務士法人）らの活躍が目立った（裏面記事参照）。

また、2018年度の支部スローガンとして「自らを高め、経営を伸ばす！ 変化を感じ、未来を創れ！」が決定。

今回の一泊同友会は、これまでとくらべスムーズに議論が進み、宿泊した会員によれば、翌日は朝の9時に会議が終了したとのこと。

2017年度は、みなさまのおかげで活気ある大田支部となりました。2018年度もよろしく願いいたします。

※各部会、委員会、同好会、幹事の方のみならず、大田支部の肝ともいえる一泊幹事会は来年も開催されますので、ぜひともご参加ください。



1月例会・賀詞交換会報告

1月18日、東京中小企業家同友会大田支部1月例会＆賀詞交換会が開催されました。今年度は、大田区産業プラザにて講演会、来富市場にて賀詞交換会という運びとなりました。

大田支部で長年活動して来られた(株)湯建工務店の湯本会長は講演で「お客様に満足感と便利さを売る建設会社をコンセプトにしている。お客様の人生に寄り添う建築屋を目指している。知人の紹介にて東京中小企業家同友会に入会し、新卒採用を行う共同求人活動で会社は公器であると教えられたこと、よい会社づくりを目指す同友会理念に共感し、同友会で学んだことを自社に積極的に取り入れてきたこと、2017年8月に長女に社長をバトンタッチしたこと」などをこれまでの取り組みと共に語っていただきました。

また、「同友会の目的である、いい会社、いい経営者、いい経営環境を目指す中で、同友会の仲間とともにさまざまな勉強会や取り組みをしてきた。皆の前で発表する」、「どこかで聞いたことのある言葉だ」、「知っていることと、やれることは違う」と教えられた。と言います。さらに、「話を聞くことが大事」と語る湯本会長の言葉に、常に学び続ける姿勢を感じました。

湯本会長、ありがとうございました。その後、一同は賀詞交換会を京急蒲田駅前ビル内の来富市場で開催し、マジックショーなどを堪能しました。

